



記事 1. 第22回鉄道フェスティバルに出展しました。

2. 総務省自治財政局の配席図

(10月1日現在)

1. 第22回鉄道フェスティバルに出展しました。

明治5年10月14日に新橋・横浜間に我が国初めての鉄道が開通したことを記念して、平成6年に制定された「鉄道の日」が22回目を迎え、関連行事として、10月10日・11日の両日、第22回「鉄道フェスティバル」が東京都千代田区の日比谷公園で開催されました。

一般社団法人日本地下鉄協会では、「鉄道の日」実行委員会の委員を務める構成員として、この鉄道フェスティバルに出展し、行事を盛り上げました。



1日目は、まずまずの好天で79,000人の入場者で大変混み合い、2日目も朝からの雨の影響が心配されたものの63,000人の鉄道ファンが訪れ、2日間合計で、昨年の140,000人を上回る142,000人の入場者で賑わいました。

◆ 会員事業者紹介のパネルに人だかり

日本地下鉄協会ブースでは、一昨年から始めた会員各社の事業紹介のパネル掲示のために、今年もテントにボードで壁を作りました。出身地の地下鉄のパネルの前で、沿線のお話をされるグループ、お気に入りの電車の写真を見つけ、お子さんがお父さんに



詳しく説明している親子連れなど、多くの来場者の方が終日途切れることなくブースを訪れ、熱心にパネルをご覧になっていました。

◆ リーフレットの配布に長蛇の列

協会では、地下鉄を利用する際のマナー等をまとめた「みんなで守ろう!電車のマナー」リーフレットと、来る12月6日に開通する「仙台市地下鉄東西線」を紹介するパンフレットをセットにし、会員31事業者の車両の正面写真をデザインしたクリアファイルに挟んで、6回に分けてお配りしました。

混乱を避けるため、あらかじめ配布時間を予告して配布しましたが、何十分も前から希望者がブースの前に並びはじめ、毎回とも長蛇の列ができるほどの大盛況でした。

特に、クリアファイルに関しては、毎年集めているファンがおられ、「去年と入れ替わった電車は何処」と質問されるなど、大好評でした。

◆ 地下鉄グッズは売り切れ続出

今回の鉄道フェスティバルでは、「京都市交通局」、「大阪市交通局」及び「名古屋市交通局」が地下鉄協会のブースを利用して、鉄道グッズ等の物品販売を行いました。1日目のオープン前から並ぶ人がでるなど、お目当てのものを探す鉄道ファンが多数訪



れ、盛況を博しました。

出店された3事業者の皆様も、出足では予想を上回る売れ行きがあり、「売切れ」の品が出る程でしたが、2日目は朝からの雨で昨年のような状況にはなりませんでした。

◆ 最新版「世界の地下鉄～ビジュアルガイドブック～」も売れ行き好調

地下鉄協会では、今回の鉄道フェスティバルで、5年振りに制作した「世界の地下鉄～ビジュアルガイドブック～」を㈱ぎょうせいのご協力も得て、特別価格、限定部数で販売いたしました。予定した部数は、2日目の午前で売り切れるという状況で好評でした。

今回の鉄道フェスティバルでは、会員各社から絶大なるご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今後とも、ご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

2.総務省自治財政局の配席図

(10月1日現在)

次頁参照

【お知らせ】

*最新版「世界の地下鉄～ビジュアルガイドブック～」(10月10日発売)

- ・163都市の主要データを網羅
- ・主要65都市の路線図・データ・解説
- ・QRコード検索機能付き

ご希望の方は、当協会ホームページの「世界の地下鉄～VISUAL GUIDEBOOK～」からお申し込み下さい。

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp

